

HD-SDI

DIGITAL VIDEO RECORDER

USER MANUAL



【安全に関する注意事項】

使用者の安全を守り、財産上の損害等を防ぐための内容です。

必ずお読みになり、正しくご使用ください。

本取扱説明書には製品保証書が含まれております。紛失のないよう大切に保管してください。

Ver : HD-SDI JPN_2.0

ご使用になる前に

本書は、DVR(デジタルビデオレコーダー)の設置及び運用に関する取扱説明書です。

本機器を初めてご使用になる方や、以前に同等の機器を多く取り扱った方でも、ご使用になる前は必ず本書の内容をお読みになり、注意事項を十分にご理解の上、正しく製品を扱ってください。

【安全に関する事項】は、製品を正しくお使いいただくことにより、危険や財産上の被害を防ぐための内容です。必ずお守りください。

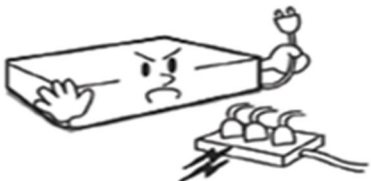
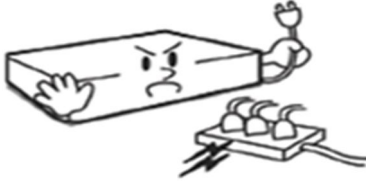
設置、または使用中に問題が発生した場合は、購入先までお問い合わせください。

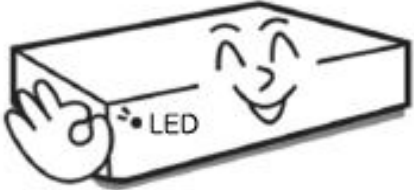
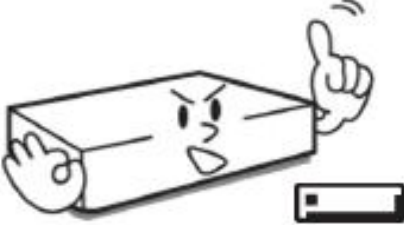
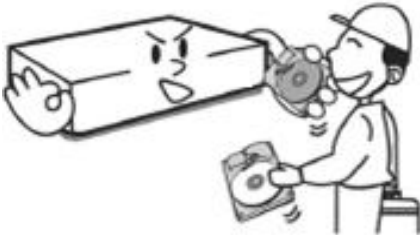
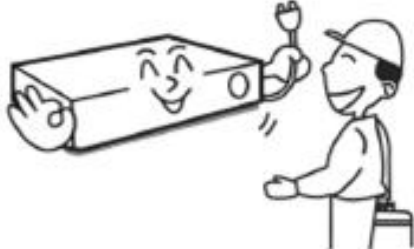
説明書は、大切に保管してください。

[参考]

本書はDVRの機能変更(改善)により、多少の差が生じる場合がございます。

安全に関するご注意事項

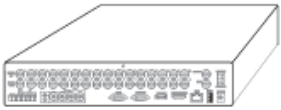
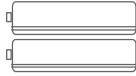
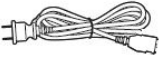
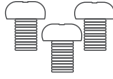
警告	
設置前は必ず本機器の電源を切り、複数の電源コードを同時に差し込んで使用しないでください。火災、感電、傷害の危険があります。 	カメラの新規設置及び追加工事の前は必ず本機器の電源を切り、製品の動作中にカメラ映像を接続しないでください。火災、感電、傷害の危険があります。 
電源や映像などのケーブルが折れる恐れがありますので、壁面より15Cm以上、横面は5Cm以上の間隔を置いてください。 火災、感電、傷害の危険があります。 	本機器の内部には感電危険部位があるので、蓋を開けたり、分解や修理、改造等しないでください。 火災、感電、傷害の危険があります。 
本機器を置く場所は清潔に保ち、掃除する際は乾いた布で拭き取り、シンナー、有機溶剤は使用しないでください。感電及び機器の故障原因になります。 	本機器の入力電圧は規定電圧の10%以内で、電源コードは必ず接続されている必要があります。電源コードにドライヤー、アイロン、冷蔵庫などの電熱機具を同時に使用しないでください。異常発熱及び火災感電の原因になります。 
異常音や異臭がする際は、直ちに電源を切り、購入先またはサービスセンターまでお問い合わせください。 	湿気やホコリが多い場所には設置しないでください。感電、火災の原因になります。 

ご注意	
強い磁気や電波の入る場所、ラジオやテレビなどの無線機器付近の設置は避けてください。磁石類や電波、振動のない所に設置してください。 	機器の上に重い物を乗せないでください。故障の原因になります。 
強い衝撃や振動は機器故障の原因になりますので、使用の際は、ご注意ください。 	換気口に導電性物質が入らないようにご注意ください。故障の原因になります。 
機器の前面部分にある電源ランプと録画ランプが点灯しているか、ご確認ください。 	ハードディスクの容量が足りない場合、録画を続けるためには設定を上書き録画に変更します。その際、既存の保存データが削除されますので、もう一度ご確認ください。 
ハードディスクが寿命になると映像データが損傷され回復しないことがあります。ハードディスクの寿命ですので、お早めに購入先またはサービスセンターへお問い合わせし、交換してください。 	機器の状態を随時に確認し、異常がある場合は、直ちに購入先またはサービスセンターへお問い合わせください。 

MIC 電磁波適合登録

機種別	使用者へのご案内
A級機器 (業務用情報通信機器)	本機器は業務用として電磁波適合登録を完了した機器ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。

構成品

		
本体	取扱説明書	乾電池
		
電源ケーブル	アダプター	遠隔監視ソフト
		
リモコン	HDD装着用ネジ	

包装内容物	説明
DVR本体	デジタルビデオレコーダー
乾電池	リモコン用乾電池 1.5V (単4) 2個
ネジ	ハードディスク装着用
CMSソフトCD	遠隔監視ソフト
マニュアル	取扱説明書(DVR本体・CMS)
アダプター	DC電源供給用12V 6.67A
電源ケーブル	100V用電源ケーブル
リモコン	近距離多重リモコン(IDリモコン)

- 目 次 -

第1章 製品の特徴と構成	
1-1 製品の特徴	8
1-2 前面部の名称と機能	9
1-3 後面部の名称と機能	10
第2章 基本使用方法	
2-1 アイコン説明	14
2-2 リモコン使用方法	15
2-3 リモコンID設定方法	16
2-4 メニュー呼出方法	17
2-5 拡大/縮小機能	18
第3章 システム設定	
3-1 システム－情報	19
3-2 システム－時刻/日付	20
3-3 システム－パスワード	21
3-4 システム－HDD管理	22
3-5 システム－初期化設定	23
3-6 システム－アップグレード	24
3-7 システム－キーボタン設定	25
3-8 システム－シリアルポート設定(RS-485)	25
第4章 画面表示設定	
4-1 画面表示－OSD	26
4-2 画面表示－分割モード	26
4-3 画面表示－シーケンス	26
4-4 画面表示－スポットアウト	27
4-5 画面表示－画面ポジション	28
第5章 ネットワーク設定	
5-1 ネットワーク－IPアドレス	29
5-2 ネットワーク－通知	30
5-3 ネットワーク－デュアルコーデック設定	31
5-4 ネットワーク－Free DDNS	32
第6章 カメラ設定	
6-1 カメラ－Camera Information	33
6-2 カメラ－カメラタイトル	33
6-3 カメラ－パン/チルト	34
6-4 カメラ－Privacy	36

第7章 録画設定	
7-1 録画－録画設定	37
7-2 録画－週間録画スケジュール	38
7-3 録画－休日録画スケジュール	39
第8章 イベント設定	
8-1 イベント－センサー	40
8-2 イベント－モーション	40
8-3 イベント－イベント動作	41
第9章 検索	
9-1 検索	44
9-2 カレンダー検索	44
9-3 時間検索	46
9-4 履歴検索	46
9-5 最初のデータへ/最後のデータへ	47
9-6 再生のコントロール	47
9-7 音声出力	48
第10章 バックアップ	
10-1 バックアップ	49
10-2 ビューアープログラムのコントロール	52
第11章 遠隔接続 -iPhone	53
11-1 アプリインストール	53
11-2 アプリ起動	53
11-3 DVRの登録	53
11-4 ライブ	56
11-5 検索	57
11-6 接続終了	58
第12章 遠隔接続 アンドロイドフォン	59
11-1 アプリインストール	59
11-2 アプリ起動	59
11-3 DVRの登録	59
11-4 ライブ	59
11-5 検索	59
11-6 接続終了	59
第13章 付録	61

第 1 章 — 製品の特長と構成

1-1. 製品特長

本製品は、当社の経験と蓄積されたノウハウを使って開発された高性能の先端映像記録装置で、どなたでも容易に設置、使用することができます。

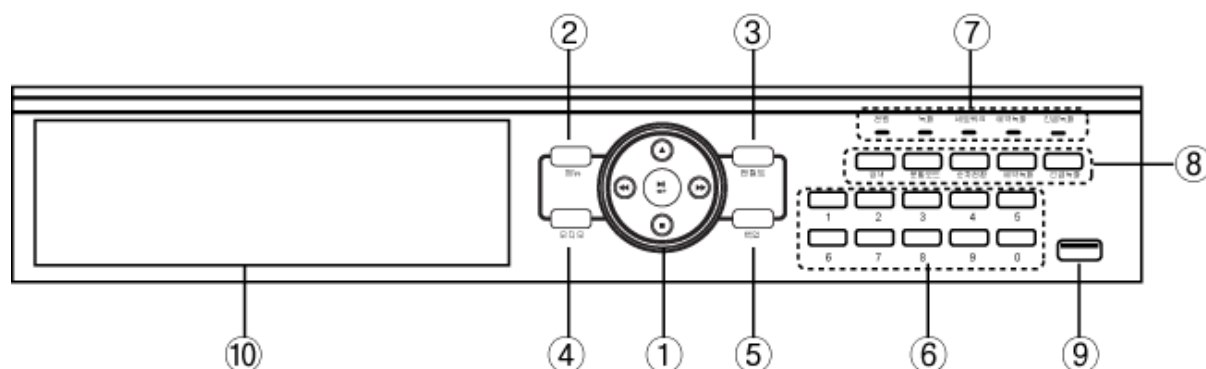
主要特長

- ・フルHD(1920×1080)の映像表示
- ・マウスでのパン/チルトコントロールが可能
- ・簡単なバックアップのためのUSB端子(前面・背面)
- ・ODD(CD・DVD)バックアップ可能(オプション)
- ・GIGAネットワーク網で転送可能
- ・ダイナミックIPのインターネット接続可能
- ・デュアルコーデックネットワーク転送可能
- ・HDMI出力、VGA出力、Spot出力可能
- ・チャンネル別解像度及びフレームの単独設定可能
- ・複数のパン/チルトのプロトコルをサポート
- ・遠隔監視ソフトウェア(CMS)・バックアップビューアー搭載
- ・スマートフォン/ウェブブラウザからの遠隔監視可能

適用分野

- ✓ 銀行、ATM、スーパーマーケット、コンビニなどの公共場所
- ✓ 住宅、アパート、貴金属店、商店街などでの、無人警備と盗難防止用として最適
- ✓ 学校、幼稚園、遊び場など子供の安全が必要な場所
- ✓ 倉庫、作業場などの監視と事故予防の原因分析
- ✓ 監視場所から離れて遠隔監視が必要な時

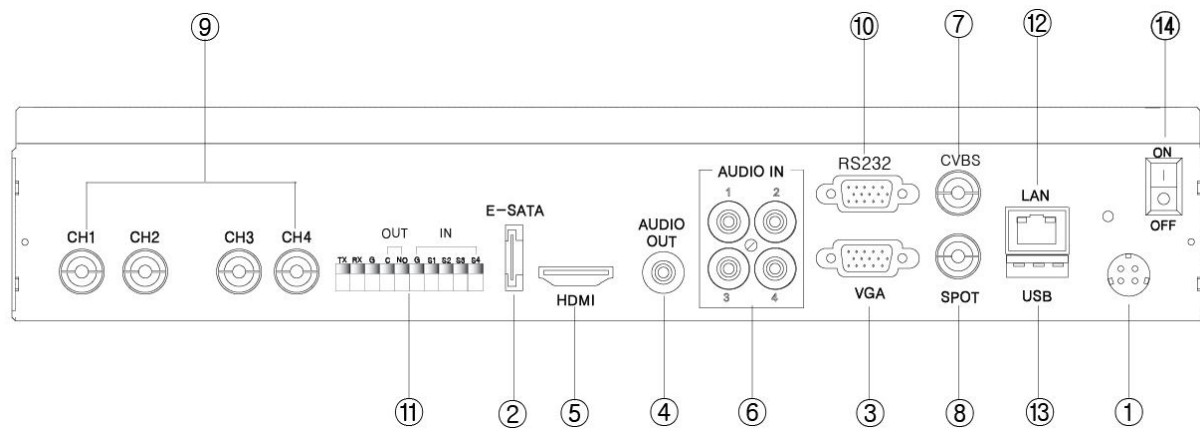
1-2. 前面部の名称と機能



(前面部)

番号	ボタン/機能	説明
1	方向キー / 再生ボタン	メニューの設定操作時の移動及び選択(確認)ボタンにて使用
		再生時の速度制御/停止/一時停止
2	MENU (メニュー)	メニューの呼出/前メニューへ移動/キャンセル機能
3	PTZ(パンチルト)	パンチルトメニューの呼出
4	AUDIO(音声)	音声メニューの呼出
5	BACKUP(バックアップ)	映像データのバックアップ機能の呼出
6	数字 (1~0)	チャンネル選択/パスワード変更およびメニュー設定時の数字入力
7	LED	電源/録画/遠隔接続/スケジュール録画/緊急録画の表示
8	機能ボタン	SEARCH 検索メニューの呼出
		QUAD 分割モードの変更
		SEQ チャンネル自動順次切替機能
		SCHEDULE スケジュール録画機能
		EMERGENCY 緊急録画機能
9	前面部USBポート	マウス/外付けハードディスク/USBメモリースティック接続部
10	ODD	オプションによってODD内蔵可能

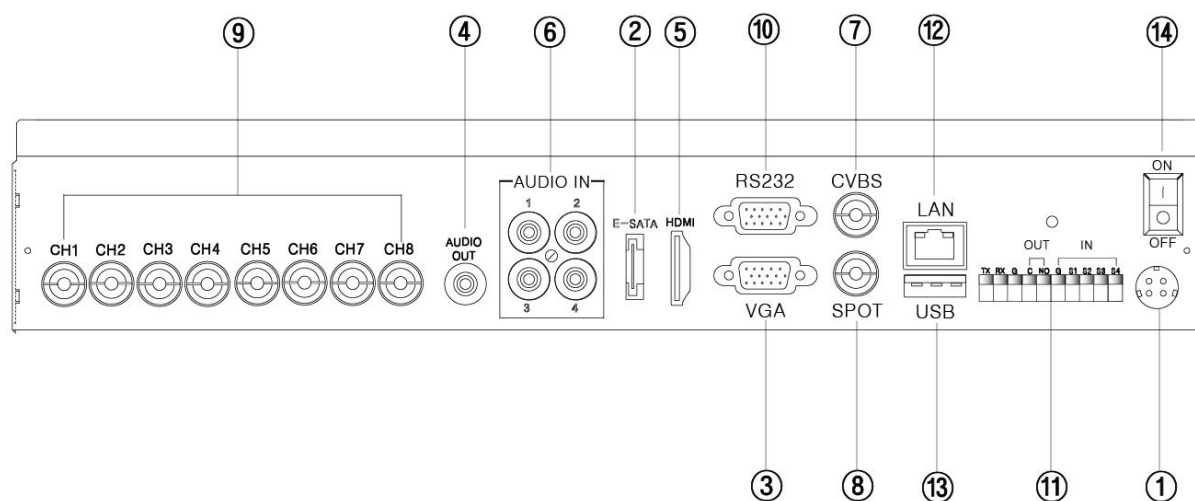
1-3. 後面部の名称と機能



(4チャンネル後面部)

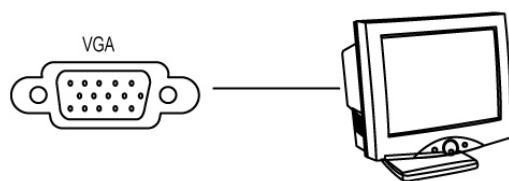
番号	ボタン/機能	説明
1	DV12V	アダプターの電源入力
2	E-SATA	外付けHDD連結端子
3	VGA	VGAモニター用出力端子
4	AUDIO OUT	オーディオ出力端子
5	HDMI出力	HDMI映像出力端子
6	AUDIO IN	オーディオ入力端子
7	CVBS	CCTV用モニター用出力端子
8	SPOT	SPOT出力端子
9	VIDEO IN	カメラ映像入力端子
10	RS232	製造元で開発用及び修理用として使用
11	Tx、Rx、Sensor、Alarm	パンチルト(Tx、Rx)/キーボード(Tx、Rx)/ センサー入力/アラーム出力接続
12	LAN	インターネット接続端子
13	USB	マウス/バックアップ用のUSBメモリースティック接続
14	スイッチ	本体電源スイッチ

DIGITAL VIDEO RECORDER MANUAL



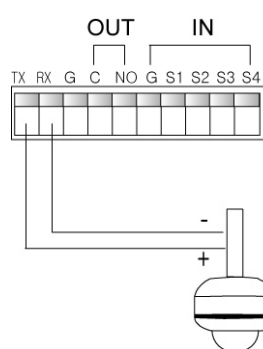
番号	ボタン/機能	説明
1	DV12V	アダプターの電源入力
2	E-SATA	外付けHDD連結端子
3	VGA	VGAモニター用出力端子
4	AUDIO OUT	オーディオ出力端子
5	HDMI出力	HDMI映像出力端子
6	AUDIO IN	オーディオ入力端子
7	CVBS	CCTV用モニター用出力端子
8	SPOT	SPOT出力端子
9	VIDEO IN	カメラ映像入力端子
10	RS232	製造元で開発用及び修理用として使用
11	Tx、Rx、Sensor、Alarm	パンチルト(Tx、Rx)/キーボード(Tx、Rx)/ センサー入力/アラーム出力接続
12	LAN	インターネット接続端子
13	USB	マウス/バックアップ用のUSBメモリースティック接続
14	スイッチ	本体電源スイッチ

VGA モニター接続



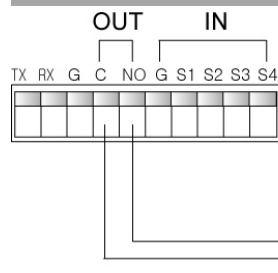
DVR後面部のVGA出力をモニターのVGA INに接続します。

PTZ カメラ接続 (RS-485)



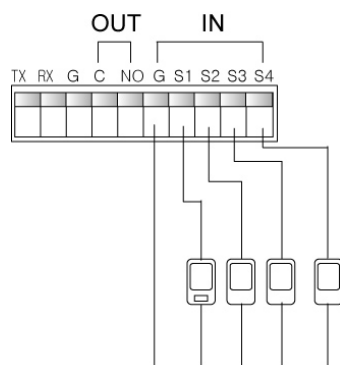
パンチルトにキーボードを接続するためには、Tx(+)とRx(-)に接続してください。

アラーム接続



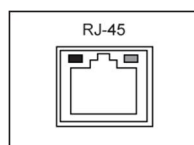
アラーム出力は、CとNOにそれぞれ接続して使用します。

センサー接続



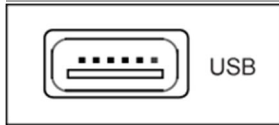
センサー入力は2本の線をG(Ground、-)と、S1~S4に接続して使用します。

RJ-45(LAN ポート) 接続



10/100/1000 Base-Tx Ethernet (RJ-45) - Fixed IP、DHCP & DDNS

RJ-45(LAN 포트) 연결

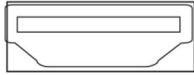


마우스/외付け하드디스크/USB메모리스틱접속부(본체의 전면과後面)

HDMI 모니터接続

HD
MONITOR

HDMI対応モニターを接続します。



外付けHDD接続

E-SATA

外付けHDDを接続します。(E-SATA専用ケーブルを使用してください。)



第 2 章 － 基本使用方法

2-1. アイコン説明

[1] ライブ上で表示されるアイコンは現在の動作状態を表示します。



録画している時に表示されます。



ビデオロス時に表示されます。



動きが検知された時に表示されます。



センサー入力時に表示されます。

[2] タイトル表示領域：カメラタイトルを表示します。



[3] その他の領域の表示

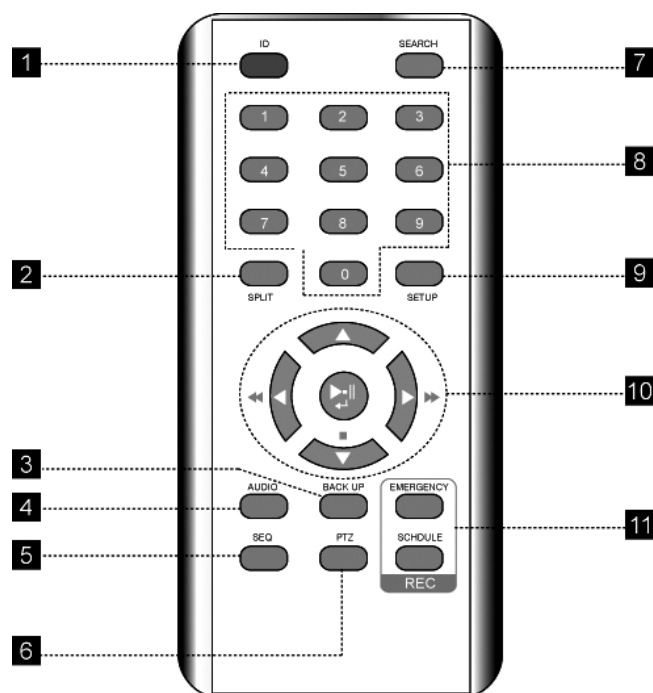
1. 日付と時間が表示されます。
2. 緊急録画時には“ER”が表示され、スケジュール録画時には“SR”が表示されます。
3. DVRロック状態とネットワーク接続状態が表示されます。
4. 使用可能なHDDの容量を%で表示し、上書きする場合は“OVERWRITE”が表示されます。



2-2. リモコン使用方法

本製品はリモコンでコントロールすることができます。

携帯しやすいリモコン一台で、複数のDVRシステムをコントロールすることができます。



- [1] ID : 複数のシステムを一つのリモコンでコントロールする場合に使用します。
- [2] SPLIT : 分割画面を切り替える場合に使用します。(本体の“QUAD”ボタンと同じ機能です。)
- [3] BACK UP : 過去の映像データをバックアップする場合に使用します。
- [4] AUDIO : 録音された音声を聞く場合に使用します。
- [5] SEQ : 画面を自動に順次切り替えする場合に使用します。(シーケンス)
- [6] PTZ : パン/チルトカメラをコントロールする場合に使用します。
- [7] SEARCH : 記録されている映像データを再生する場合に使用します。
- [8] 数字ボタン : チャンネル選択及び数字を入力する場合に使用します。
- [9] SET UP : DVRのメニューを呼び出す場合に使用します。
- [10] メニュー移動方法キー/確認ボタン/再生関連ボタン : DVRメニューに入ってメニュー移動及び設定選択ボタンとして使用します。再生時には再生・逆再生・再生速度調節・一時停止に使用します。
- [11] 録画ボタン :
 - EMERGENCY : 緊急録画する場合に使用します。
 - SCHEDULE : スケジュール録画する場合に使用します。

2-3. リモコンID設定方法

複数のDVRを一つのリモコンでコントロールする場合に使用します。

リモコンを使用するためには、DVR本体に設定されたIDとリモコンのIDを一致させて使用します。

- [1] DVR本体のIDを確認して変更します。
 - メニュー > システム > 情報 > リモコンID (範囲 : 0 ~ 99)
 工場出荷時の基本値は“0”です。もし複数のDVRを一つのリモコンでコントロールさせる場合、DVRにそれぞれ違うリモコンIDを設定して使用します。



[2] リモコン使用方法

DVR本体のメニューでリモコンIDを変更した場合、そのDVRをコントロールするためにはリモコンのIDも同じIDに設定して使用します。



リモコンのIDボタンを押すと、上記のようにリモコンのIDを変更メニューが表示されます。

- DVR ID : 本体の現在のリモコンIDを数字で表示します。
- “0” : リモコンの“ID”ボタンを選択し、DVR本体と同じIDを入力します。

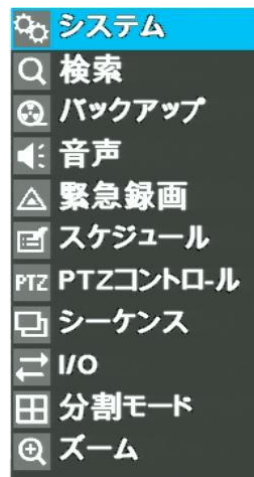
2-4. メニュー呼出方法

DVRメニューはDVR本体のフロントボタン、リモコン、マウスで呼び出すことができます。

[1] フロント使用 : DVRフロントの“MENU”ボタンを押します。

[2] マウス使用 : 画面上でマウスを“右クリック”します。

[3] リモコン使用 : リモコンの“SET UP”ボタンを押します。



	システム	DVR設定メニューを表示します。
	検索	検索メニューを表示します。
	バックアップ	バックアップメニューを表示します。
	音声	オーディオ出力メニューを表示します。

	緊急録画	緊急録画を開始します。
	スケジュール	スケジュール録画を開始します。
	PTZコントロール	PTZコントロールメニューを表示します。
	シーケンス	画面を自動順次切り替えます。
	I/O	アラームと内部ブザーを出力します。
	分割モード	画面分割を変更します。
	Zoom	映像を拡大します。

2-5. 拡大/縮小機能

ライブ又は再生画面で映像を拡大することが出来ます。

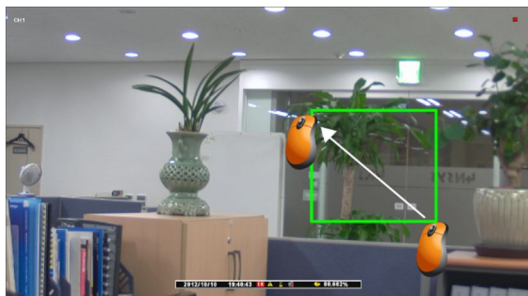
[1] マウスで映像を拡大する方法

分割画面から一つの画面を全画面にした後、拡大する領域でマウス左側ボタンをクリックした状態でドラッグすると、映像が拡大されます。

ドラッグ時、四角形の領域が赤色で表示されると、拡大が出来なく、緑色で表示されると、拡大が出来ます。

縮小する場合には、マウス左側ボタンをクリックした状態で再度ドラッグすると映像が縮小されます。

(メニューを呼出して“拡大/縮小”メニューを選択しても拡大/縮小することもできます。)



[2] リモコン(フロントボタン)で映像を拡大する方法

- ライブ : 拡大時にはメニューを呼出して“拡大/ 縮小”を選択した後、方向ボタンで移動します。
縮小時には“メニュー”ボタンを押します。
- 再生 : 拡大時には“緊急録画”ボタンを押した後、方向ボタンで移動します。
縮小時には“メニュー”ボタンを押します。

第 3 章 – システム

3-1. システム – 情報



- [1] リモコンID：複数のDVRを一つのリモコンでコントロールすることができます。
(基本値：0、最大99台)
- [2] マウス感度：マウスの動きの感度を設定します。使いやすい設定に調節してください。
(基本：1、動きの速度がゆっくり1 < 2 < 3動きの速度が速い)
- [3] 言語：DVRメニューで表示される言語を変更することができます。
- [4] バージョン：S/W, H/W, N/Wなど、DVR本体の使用環境バージョンを確認することができます。
- [5] S.M.A.R.T：ハードウェアの状態を表示します。
 - ハードディスク1～3：HDDの温度を表示します。
 - E-SATA：E-SATAに接続されているHDDの温度を表示します。
 - ボード：DVRメインボードの温度を表示します。
- [6] 映像入力方式：現在の映像帯域幅方式を選択します(日本：NTSC方式)
- [7] ウェブコード：遠隔モニタリング時に使用されるDDNS IDです。(詳細はCMSマニュアル参照)
- [8] MACアドレス：DVRのマックアドレス(固有のネットワークアドレス)を表示します。

3-2. システム – 時刻/日付



[1] 時間：現在の時間を設定します。

* 時間を過去に戻す場合、記録された映像データが消去される可能性がありますので、十分ご注意ください。

[2] 日付：現在の日付を設定します。

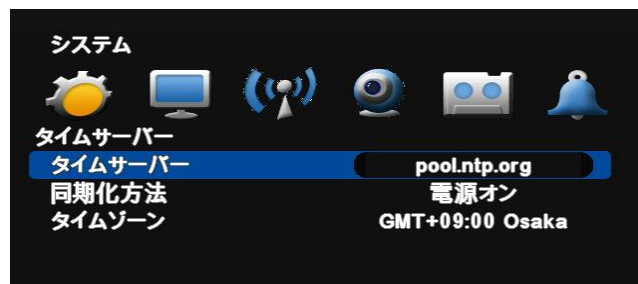
[3] 日付表示形式：年度(YYYY)、月(MM)、日(DD)の表示順序を設定します。

[4] サマータイム：日光節約時間を設定します。

開始する月/週/曜日/時間と終了する月/週/曜日/時間を入力します。



[5] タイムサーバー：DVRをネットワークに接続し、NPTサーバーと時間を同期化します。



- タイムサーバー：タイムサーバーのアドレスを入力します。(基本値：pool.ntp.org)
- 同期化方法：タイムサーバーにアクセスする周期を設定します。

- 電源オン：DVRに電源が入る度に適用
- 12時間：12時間毎に一回、サーバーにアクセスして適用
- 24時間：24時間毎に一回、サーバーにアクセスして適用
- 使用しない：同期化を使用しない
- タイムゾーン：各国の標準時間帯を設定します。

(例：日本は“GMT+09:00”を選択)

[6] 適用：変更した設定値をDVRに適用します。

3-3. システム – パスワード



[1] ID：DVRの使用者IDは事前に登録されていて、IDは変更することができません。

- admin：管理者 ID
- User1~7：使用者 ID

[参考] デフォルトのパスワードは全てのIDが“11111111”に設定されています。

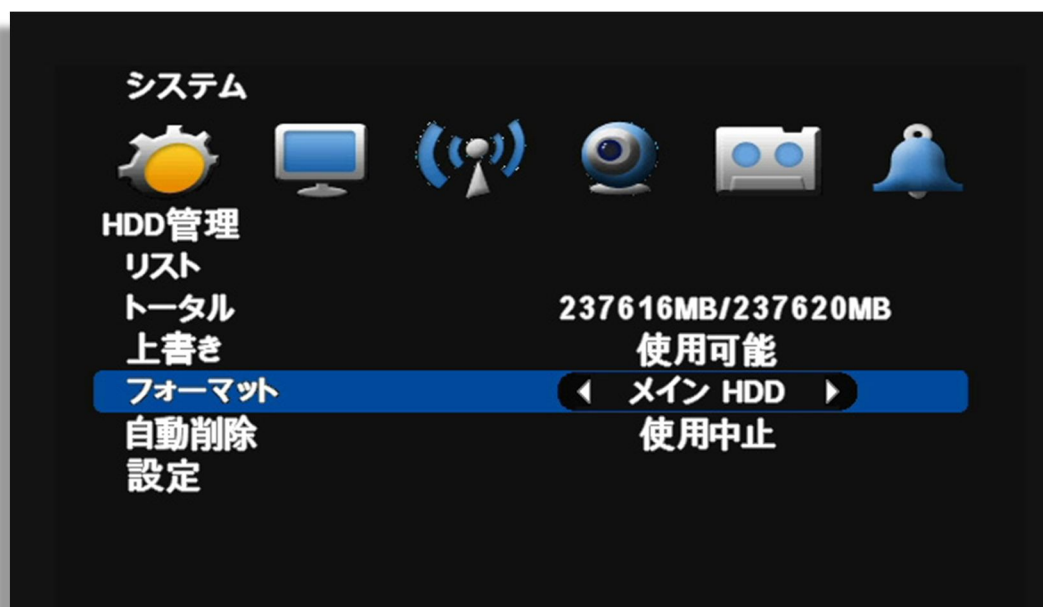
[2] 機能：選択したIDに使用権限を与えることができます。

- 設定：DVRのメニューを設定することができます。
- HDD管理：DVRメニューのHDD管理設定を変更することができます。
- 検索：検索機能を使用することができます。
- バックアップ：バックアップ機能を使用することができます。
- パン/チルト：PTZカメラをコントロールすることができます。
- 録画ボタン：緊急録画機能を使用することができます。
- PTZ OSDメニュー：PTZカメラのメニューを呼出することができます。
- カメラ：選択したカメラをブラインド(録画はしますが、ライブ映像は表示しません)することができます。

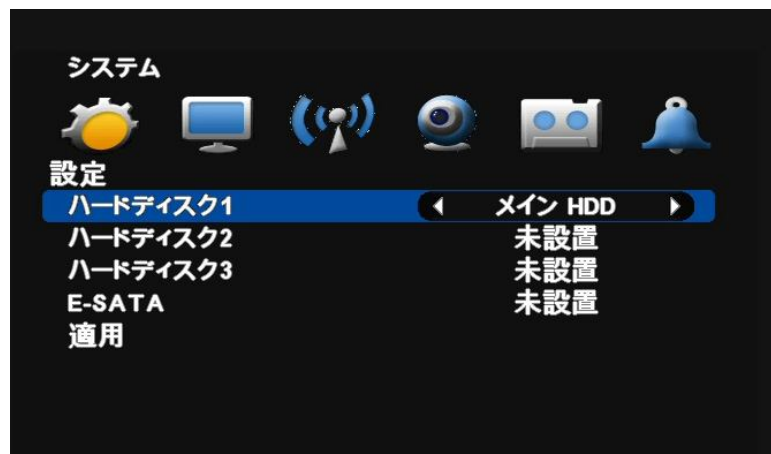
- V: DVR, CMS, ウェブブラウザから全部ライブ映像を表示します。録画アイコンも表示します。
C: DVR, CMS, ウェブブラウザから全部ライブ映像を表示しません。録画アイコンも表示しません。

3-4. システム – HDD管理

DVR本体に接続されているHDDに関する設定です。この設定は録画と関係しているため、設定を間違えると、システムのエラーや録画ができなくなる可能性があるので十分ご注意し設定して下さい。



- [1] トータル：DVRに接続されているHDDの総容量と使用量を表示します。
- [2] 上書き：“使用可能”に設定した場合、HDDの容量を全て使用すると、最初のデータを削除しながら上書きされます。
- [3] フォーマット：HDDに記録されている映像データを完全に削除します。(メインHDDとミラーHDDを選択します。)
- [4] 自動削除：設定した日数の映像データだけを残して、その前のデータは削除しながら録画します。
- [5] 設定：DVRに内蔵されているHDD及びE-SATAに接続されている外付けHDDの用途を設定します。
(“メインHDD”又は“ミラーHDD”に設定します。)



- ハードディスク1～3：DVRに内蔵されているHDDの用途を選択します。
- E-SATA：E-SATAに接続されているHDDの用途を選択します。
- 適用：変更した設定値をDVRに適用します。

[参考] 設定後“適用”を押すと、DVRが自動に再起動されます。

3-5. システム — 初期化設定

DVRの設定値を初期化します。

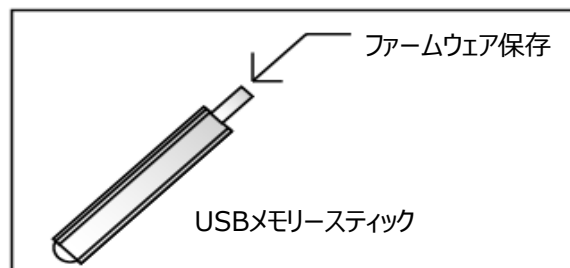


- [1] 初期化設定：日付/時間、言語、ネットワーク設定、パスワード設定、解像度、HDD管理以外の設定が工場初期化の設定値に変更されます。
- [2] 工場初期化：日付/時間、HDD管理以外の設定が工場初期化の設定値に変更されます。

3-6. システム – アップグレード



- [1] F/Wアップグレード：USBメモリースティックにファームウェアを保存し、DVRの前面または背面のUSBに差し込んで、“F/Wアップグレード”メニューを選択すると、DVRは自動的にアップグレードを開始します。



[注意事項]

アップグレード中にDVRの電源を切ったり、USBメモリースティックを抜いたりすると、故障の原因になりますので、十分ご注意ください。

- [2] 設定保存：DVRの設定値をUSBメモリースティックに保存します。
[3] 設定呼出：USBメモリースティックに保存したDVR設定値をDVRに復元します。

3-7. システム — キーボタン設定

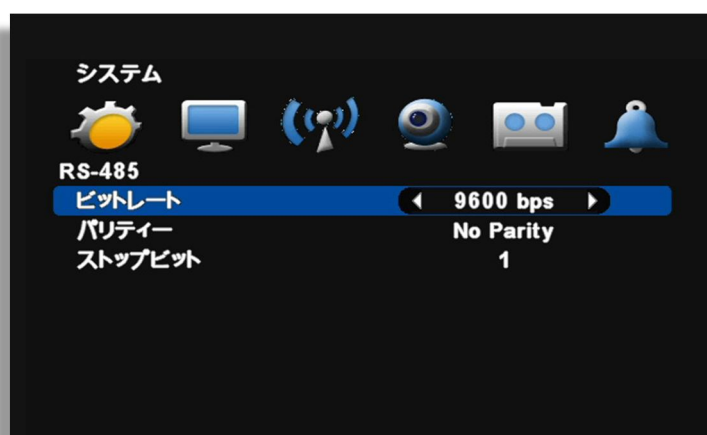
DVR操作ボタン(フロント・マウス・リモコン)の自動ロック及びボタン音の設定です。



- 自動キーロック：設定された時間が経過すると、DVRが自動でロックされます。再使用のためには再びログインする必要があります。(設定時間：10秒、30秒、1分、使用中止)
- ボタン音：操作ボタンを押す度にビープ音が発生します。

3-8. システム — シリアルポート設定 (RS-485)

RS-485通信を利用してパン/チルトカメラをコントロールすることができます。

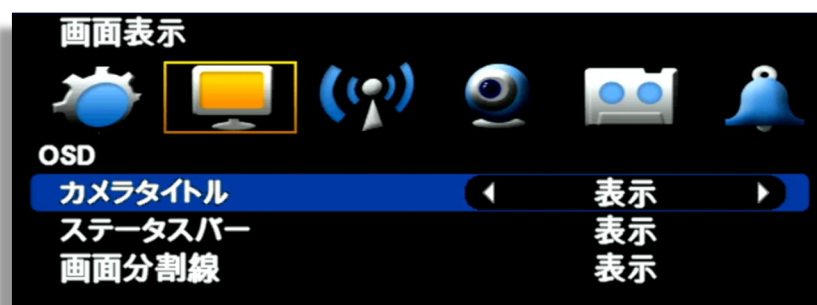


ビットレート、パリティ、ストップビット：パン/チルトカメラの設定値をそのまま設定しますので、ご購入のパン/チルトカメラのマニュアルをご参照ください。

第 4 章 ー 画面表示設定

4-1. 画面表示 ー OSD

画面に表示される各種項目の表示可否を設定します。



- [1] カメラタイトル：各カメラのチャンネル名を表示します。
- [2] ステータスバー：画面下に日付・時間・録画状態・システムエラー・ロック・ネットワーク接続・HDD残量などをステータスバーとして表示します。
- [3] 画面分割線：チャンネルの分割線を表示します。

4-2. 画面表示 ー 分割モード

画面の分割モードを設定します。

4チャンネル：1/4分割モード

8チャンネル：1/4/9分割モード

参考：フロントボタンの上向ボタンで分割モードの変換ができます。



[例：8チャンネル4分割モード設定画面]

4-3. 画面表示 — シーケンス

シーケンス機能は自動順次切り替え機能で、設定した時間で自動的に画面が切り替ります。



- 自動スキップ：カメラ入力が無いなど表示する必要がないチャンネルをスキップします。
- 表示時間：チャンネル別自動順次切り替え時に、表示する時間を設定します。(範囲：1秒～30秒)

参考：イベントポンプアップチャンネル設定時には順次切り替え機能は動作しません。

4-4. 画面表示 — スポットアウト

別途のサブモニターを使って、特定チャンネルまたはイベントが発生したチャンネルの映像を順次に表示することができます。



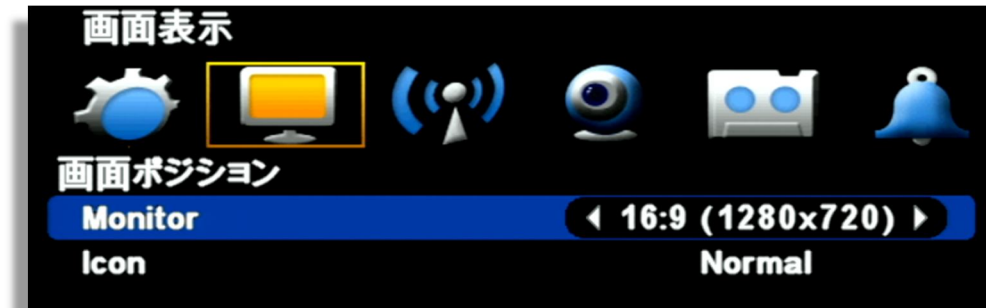
[1] 画面表示方法

- シーケンス：設定した時間で自動的に画面が切り替ります。
- イベント：イベントが発生されたチャンネルの映像を表示します。
- シーケンス+イベント：自動順次切り替え中にイベントが発生すると、イベント映像が全画面で優先表示された後、自動的にシーケンスモードに戻ります。

- [2] 表示時間：チャンネル別自動順次切り替え時に、各チャンネル別表示する時間を設定します。
(範囲：1秒～30秒)

4-5. 画面表示 — 画面ポジション

映像出力の解像度と種類を選択します。



[1] Monitor: 使用するモニターと解像度を合わせます。

- ワイドモニター(16 : 9) : 1920×1080、1280×720に設定
- スクエアモニター(4 : 3) : 1024×768、800×600に設定

[2] Icon: モニターの種類によりアイコン表示サイズと位置が異なります。

使用するモニターに合わせて設定を行ってください。

- Normal : 一般的なテレビモニターに適したサイズで表示します
- VGA : VGA用モニターに適したサイズで表示します
- Small : 小型モニターに適したサイズで表示します

第 5 章 – ネットワーク設定

5-1. ネットワーク – IP アドレス

遠隔からDVR本体の設定を変更、モニタリングするためには、DVR本体のネットワーク設定が必要です。

DVRに接続するネットワークがダイナミックIP(DHCP)か、固定IPかなどネットワーク環境の確認が必要です。



[1] DHCP : ダイナミックIP使用者のみ“使用可能”に設定し、固定IP使用者は“使用中止”に設定します。

[2] IPアドレス : ダイナミックIP使用者は設定する必要がなく、固定IP使用者は以下の例のように入力して下さい。
固定IPの使用者はIPアドレス・サブネットマスク・ゲートウェイをインターネットサービスプロバイダーに確認した後、
情報を入力してください。

[例]

- IPアドレス : 61.250.152.050
- サブネットマスク : 255.255.255.000
- ゲートウェイ : 61.250.152.001
- DNSアドレス : 164.124.101.002

[3] DDNSアドレス : ダイナミックIP使用時に経由するサーバーの固定IPです。製造元のDDNSサーバーを利用しない使用者に限り、DDNSアドレスを変更します。(工場出荷時 : 61.250.157.14)

[4] ポート : 使用ポートは基本3000番です。

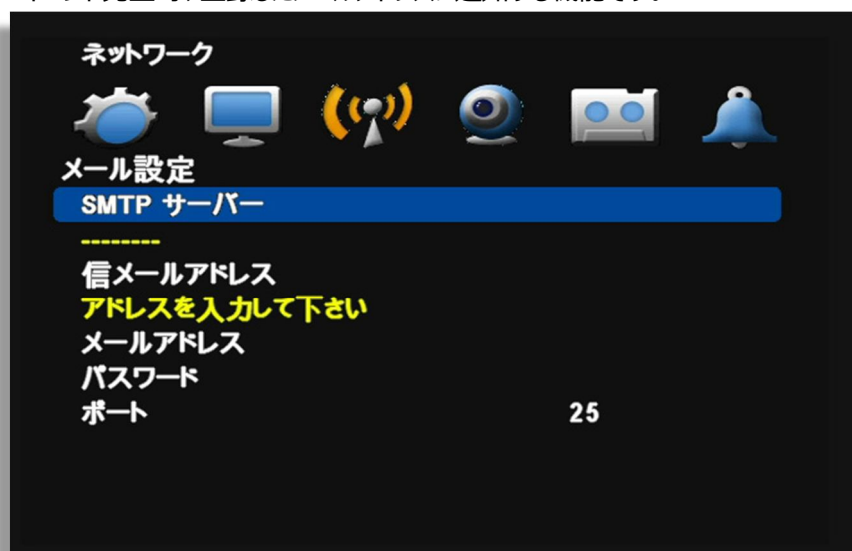
[5] Login Menu : WEBから本体に接続する場合に使用するポートです。

[6] Upnp : UPNP機能があるルーターにDVRが接続されている場合、“使用可能”に設定すると、IPアドレスの割り当てとポートフォワーディング(PORT FORWARDING)が自動的に設定されます。

[7] Mobile Stream : スマートフォンからDVRに接続する際に本体から転送する映像の解像度とフレームです。
320×240 7fpsに固定です。

5-2. ネットワーク – 通知

[1] メール設定：イベント発生時、登録したメールアドレスに通知する機能です。



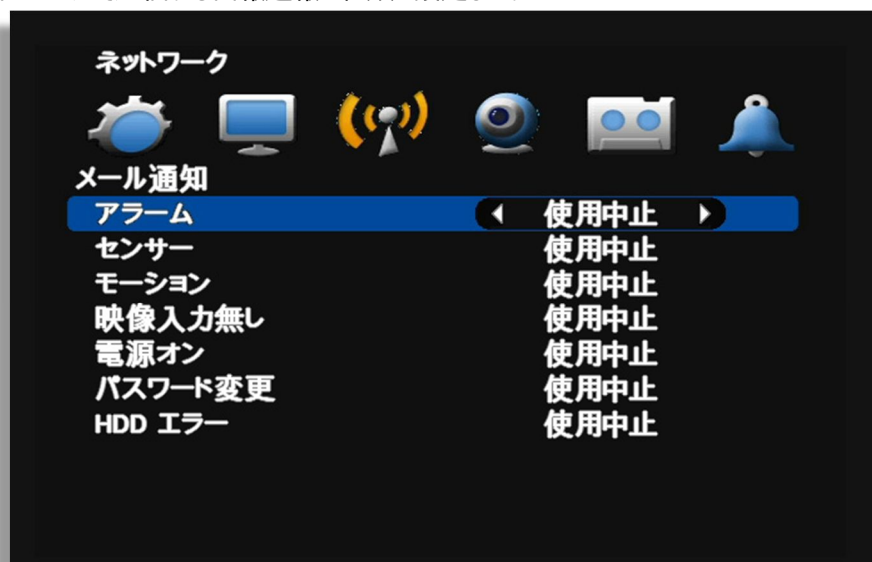
[1] SMTPサーバー：メールを送信するメールサーバを指定して、使用者が使用しているメールサーバーアドレスを入力します。送信メール(SMTP)アドレスのみ入力してください。

[2] メールアドレス：受信するメールアドレスを入力します。(最大3名まで可能)

[3] パスワード：メール送信時、ID・パスワード入力が必要な場合に設定します。

[4] ポート：通常25番を使用します。正しく動作しなかった場合、メールサーバー管理者にポートを確認してください。

[1] メール通知：メールで送信する警報通報の種類を設定します。



- アラーム：アラーム発生時、イメージを含むメールが送信されます。
- センサー：センサー入力時、イメージを含むメールが送信されます。

- モーション：モーション検知時、イメージを含むメールが送信されます。
- 映像入力無し：カメラ入力信号が途切れた場合、メールが送信されます。
- 電源オン：DVRに電源が入ると、メールが送信されます。
- パスワード変更：DVRのパスワードが変更された場合、メールが送信されます。
- HDDエラー：HDDに異常が発生すると、メールが送信されます。

5-3. ネットワーク – デュアルコーデック設定

デュアルコーデック設定：別途のネットワーク転送コーデックを利用して転送する機能です。



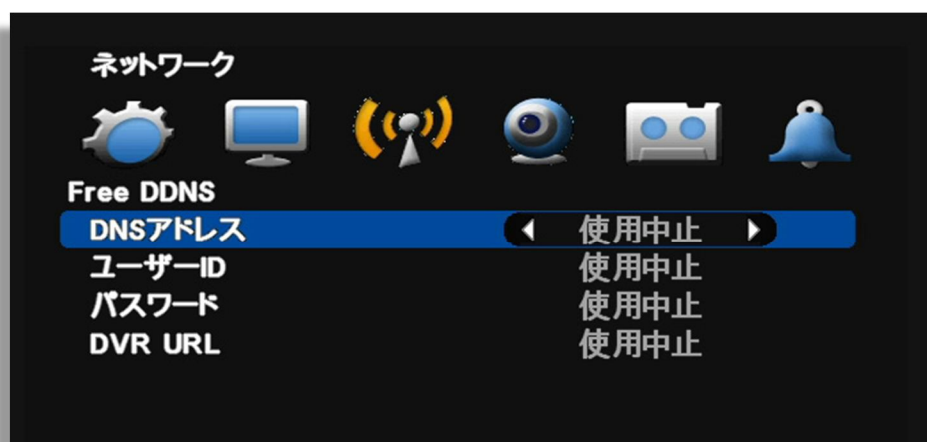
- オン/オフ：使用可能/使用中止
- チャンネル：設定するチャンネルを選択します。
- 分割画面解像度：遠隔で分割モードで表示する際の解像度を設定します。
(720×480/720×240/320×240)
- 分割画面画質：遠隔で分割モードで表示する際の画質を設定します。(最高/高/普通/低/最低)
- 画面録画速度：遠隔に転送する際の映像のフレームを設定します。
- 全画面解像度：遠隔で分割モードで表示する際の解像度を設定します。(1280×720に固定です。)
- 全画面画質：遠隔で分割モードで表示する際の画質を設定します。(最高/高/普通/低/最低)
- 全画面録画速度：遠隔に転送する際の映像のフレームを設定します。

5-4. ネットワーク – Free DDNS

FREE DDNS機能は、ダイナミックIP使用者の場合、製造元のDDNSサーバーを使わずに、プライベートDDNSサービスを利用して遠隔接続時に使います。

使用の前に<http://www.dyndns.com/> に接続して会員登録をしてください。システムがルーターにインストールされているのであれば、ルーター設定でシステムが使っているIPを“DMZ”に設定してください。“DMZ”機能は選択されたIPに対し、すべてのポートを開放する機能です。

DVR設定で登録した情報を入力します。

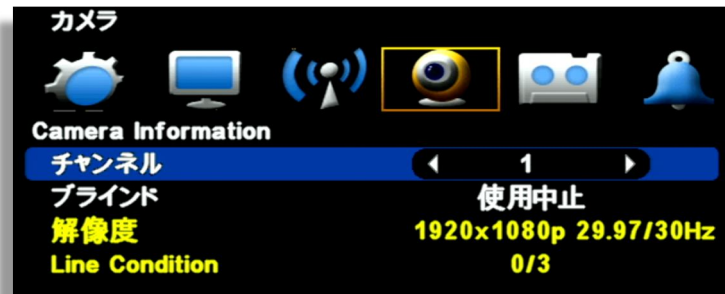


- DDNSアドレス：プライベートDNSサービス名を選択します。(選択：DyDns)
- ユーザーID・パスワード・DVR URL：該当サイトに登録したID・パスワード・URL情報を設定します。

第 6 章 – カメラ設定

6-1. カメラ – Camera Information

Camera Information:各カメラの現在の解像度とフレームを確認し、ライブ映像隠し機能を設定します。



チャンネル：ライブ映像隠し機能を使用するチャンネルを選択します。

ブラインド：映像隠し機能の使用可否を設定します。

解像度：選択したチャンネルの情報を表示します。

Line Condition：カメラの信号状態を表示します。(エラー回数/チェック回数)

6-2. カメラ – カメラタイトル

各カメラのタイトルを入力、変更できます。

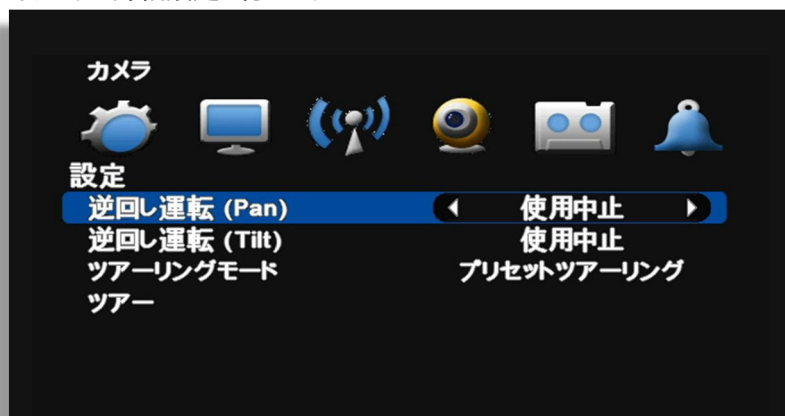


6-3. カメラ – パン/チルト

DVR本体にパン/チルトカメラ接続し、操作することが可能です。



- [1] チャンネル：パン/チルトカメラが接続されているチャンネルを選択します。
- [2] オン/オフ：パン/チルトカメラのコントロールの使用可否を選択します。
- [3] モデル：接続されているパン/チルトのモデル名またはプロトコルを選択します。
- [4] ID：接続されているパン/チルトカメラのIDを選択します。(パン/チルトカメラのマニュアルを参照)
- [5] 設定：パン/チルトカメラの詳細設定を行います。



- [1] 逆回り運転(Pan)：パン(左右)動作時、反対方向に動きます。
- [2] 逆回り運転(Tilt)：チルト(上下)動作時、反対方向に動きます。
- [3] ツアーリングモード
 - プリセットツアーリング：DVR本体にプリセット位置を記憶させて、ツアーリングします。
 - カメラツアーリング：パン/チルトカメラにプリセット位置を記憶させて、ツアーリングします。
- [4] ツアー

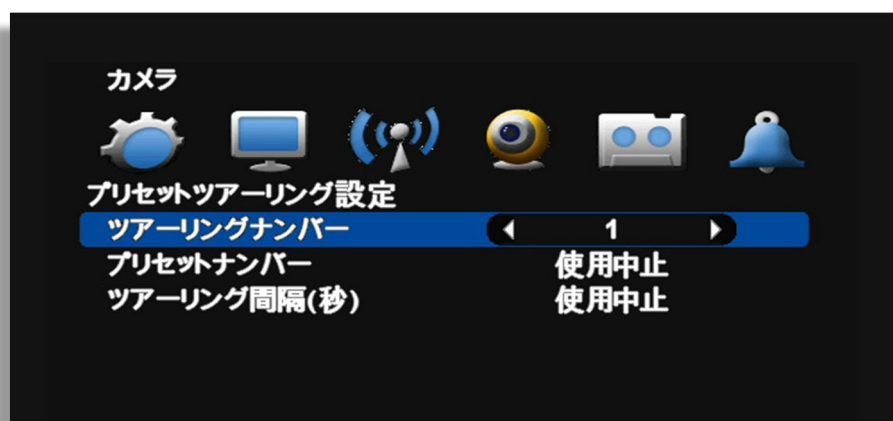
ツアーリングモードをプリセットツアーリングに設定した場合のみ、設定変更が可能です。

ツアーリングする位置は最大16箇所まで設定することができます。

 - [1] ツアーリングナンバー：ツアーリングする各位置の箇所を選択します。
 - [2] プリセットナンバー：ツアーリングナンバーに対しプリセットナンバーを選択します。

[3] ツアーリング間隔(秒)：各位置の保持時間を選択します。

参考：DVR本体に登録されているパン/チルトカメラのみ(カメラ - パン/チルト - モデル名)DVR本体からコントロールすることができます。



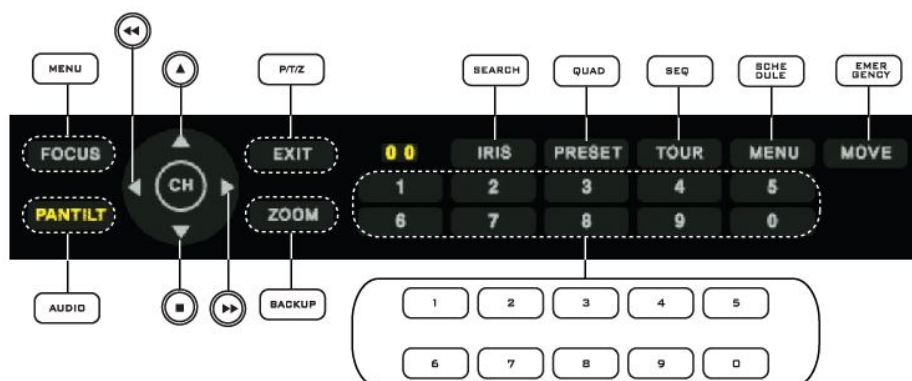
パン/チルト使用方法

コントロールするパン/チルトカメラの映像を全画面にして、パン/チルトモードに入ります。

- マウス使用：全画面上でマウスを右クリックし、“PTZコントロール”をクリックします。
- リモコン使用：全画面上でリモコンの“PTZ”ボタンを押します。



画面上にパン/チルトカメラ操作画面が表示されます。



FOCUS : カメラの焦点を調整します。FOCUSボタンをクリックし、方向キーで調整します。

PANTILT : カメラのパン/チルト操作をします。PANTILTボタンをクリックし、方向キーで操作します。

CH : 操作するカメラを選択します。チャンネル番号を入力してCHボタンをクリックします。

EXIT : パン/チルト操作画面を終了します。

ZOOM : カメラのズームを調整します。ZOOMボタンをクリックし、方向キーで調整します。

IRIS : カメラの照度を調整します。IRISボタンをクリックし、方向キーで調整します。

PRESET : プリセット機能

● プリセット保存方法

1. PRESET ボタンをクリックします。

2. 保存するプリセット番号を入力します。(最大99番まで保存可能です。)

3. 保存ボタンをクリックします。⇒プリセット保存ボタン 

● プリセット移動方法

1. PRESET ボタンをクリックします。

2. 保存されているプリセットの番号を入力します。

3. プリセット移動ボタンをクリックします。⇒プリセット移動ボタン 

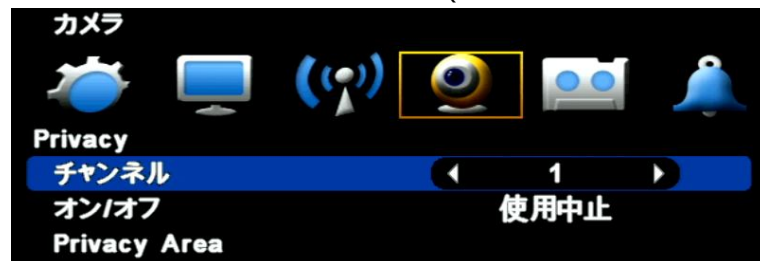
TOUR : ツアーリング機能

MENU : パン/チルトカメラのOSDメニューを呼出します。

MOVE : パン/チルトカメラ操作画面を移動します。(画面の上部/下部)

6-4. カメラ – Privacy

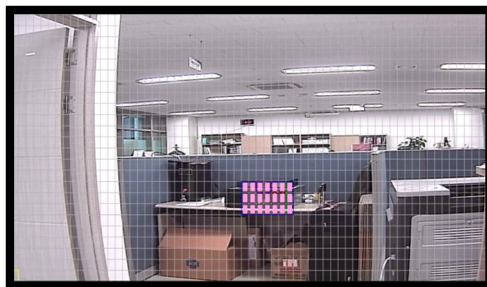
画面上にプライバシーエリアを設定します。(設定されたエリアはライブ、検索画面で黒く表示されます。)



チャンネル : プライバシー機能を使用するカメラを選択します。

オン/オフ : プライバシー機能使用可否を設定します。

Privacy Area : プライバシー機能を使用するエリアを設定します。



(設定画面)



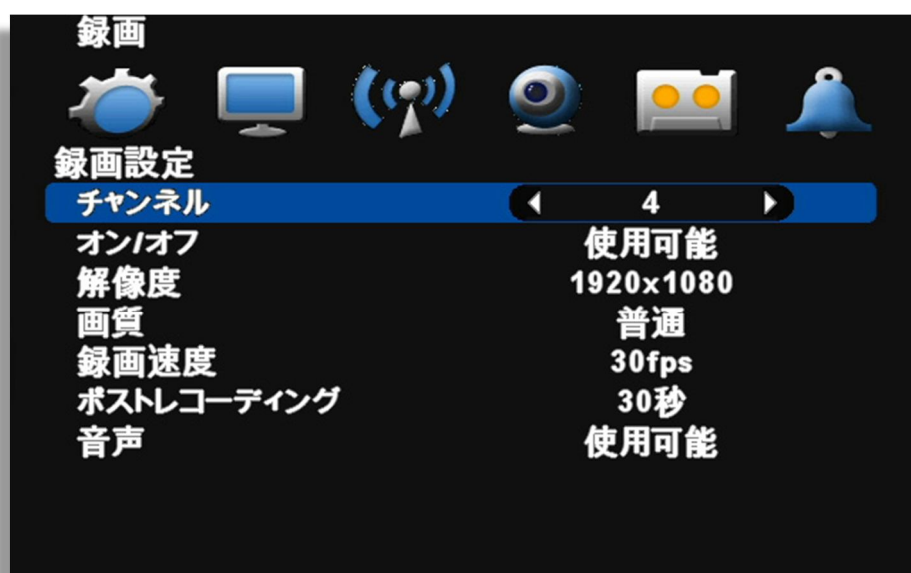
(適用後の画面)

参考 : 一つのチャンネルで最大4か所のプライバシーエリアの設定が可能です。

第 7 章 – 録画設定

7-1. 録画 – 録画設定

各チャンネル別に録画可否・解像度・画質・録画速度などを設定します。

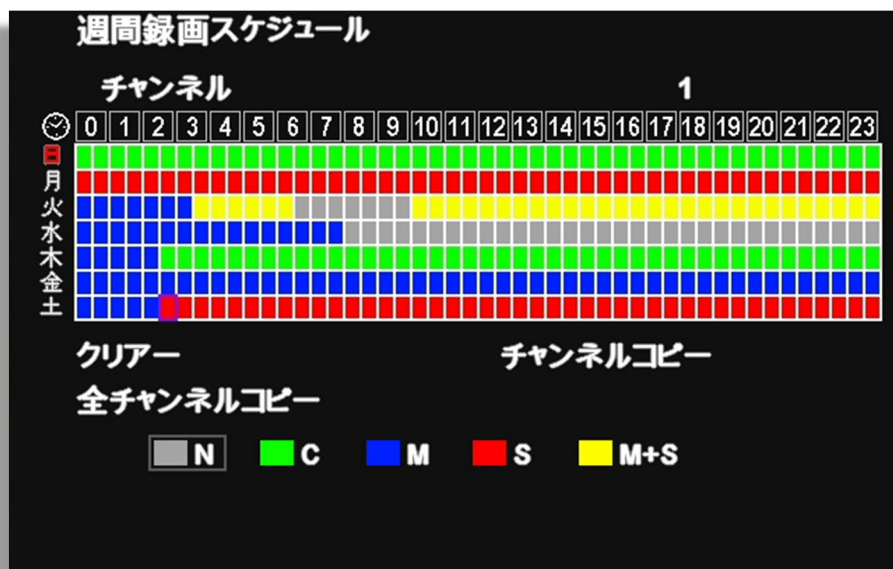


- [1] チャンネル：録画するチャンネルを選択します。
全チャンネルを同じ設定にする場合には、全チャンネルを選択します。
- [2] オン/オフ：選択したチャンネルの録画可否を選択します。(使用可能、使用中止)
- [3] 解像度：映像の解像度を選択します。(1920 * 1080、960 * 540、1920 * 540)
- [4] 画質：映像の画質を選択します。(最高、高、普通、低、最低)
- [5] 録画速度：映像の録画速度(フレーム)を選択します。
- [6] ポストレコーディング：イベント発生後に継続して録画する時間を設定します。(30秒～30分)
- [7] 音声：DVR本体に音声入力がある場合、映像とともに音声を記録します。
1～4チャンネルのみ設定可能で、各チャンネルの音声記録可否を選択します。(使用可能、使用中止)

参考：設定された解像度に対して、異なる解像度のカメラ信号が入力された場合、自動的に再起動がかかり、解像度を合わせます。

7-2. 録画 — 週間録画スケジュール

各チャンネル別に、曜日(日～土)別・時間(30分)別に、録画スケジュールを設定することが可能です。



[録画モード]

- N (灰) : 録画しません。
- C (緑) : 常時録画します。
- M (青) : 画面上に動き(モーション)が発生すると録画します。(システムイベント→モーション設定が必要)
- S (赤) : DVR本体にセンサーが入力されると録画します。(システムイベント→センサー設定が必要)
- M+S (黄) : 動きまたはセンサー入力が発生すると録画します。

[設定方法]

- [1] チャンネルを選択します。
 - [2] 録画モードを選択します。(N、C、M、S、M+S)
 - [3] 曜日と時間を選択して、そのセルで“確認”ボタン(マウス左クリック)を押す度に録画モードがN>C>M>S>M+S・・・に切り替わります。
 - [4] 他の曜日または時間帯を選択すると、また録画モードが切り替わります。
- * マウスドラッグで同じ録画モードを一括適用することができます。

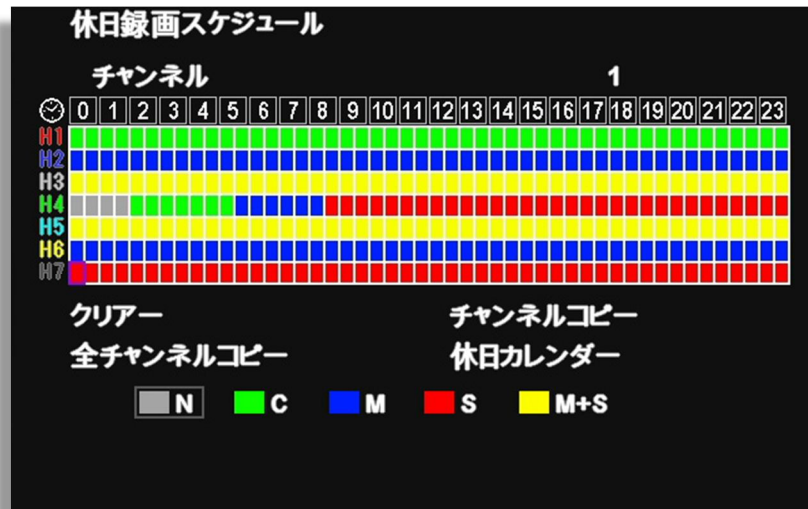
- クリアー : 選択したチャンネルの設定したスケジュールを削除します。
- チャンネルコピー : 現在のチャンネルのスケジュール設定を、チャンネルを指定し、コピーします。
- 全チャンネルをコピー : 現在のチャンネルのスケジュール設定を、すべてのチャンネルにコピーします。

7-3. 録画 － 休日録画スケジュール

休日録画スケジュールを設定すると週間録画スケジュールで設定していない曜日・時間帯に録画することが可能です。

[1] 休日録画スケジュールはH 1 (赤)からH 7 (灰)まで 7 つの多彩な設定が可能です。

週間録画スケジュールと同じ方法で、設定します。



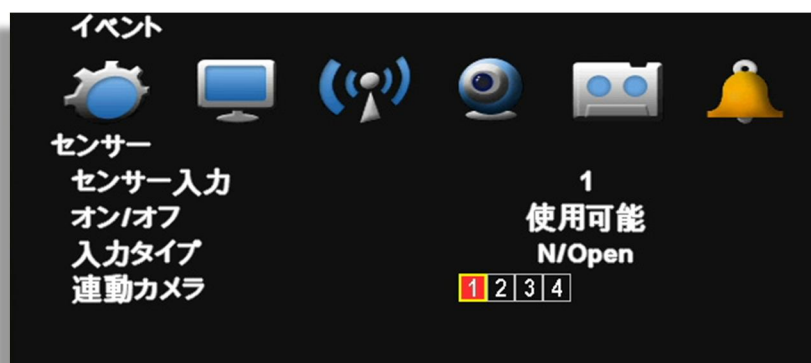
[2] “休日カレンダー”を選択し、H1からH 7 までの録画スケジュールを色で設定します。



第 8 章 – イベント 設定

8-1. イベント – センサー

DVR本体にセンサー信号を入力して、録画する場合などに設定します。



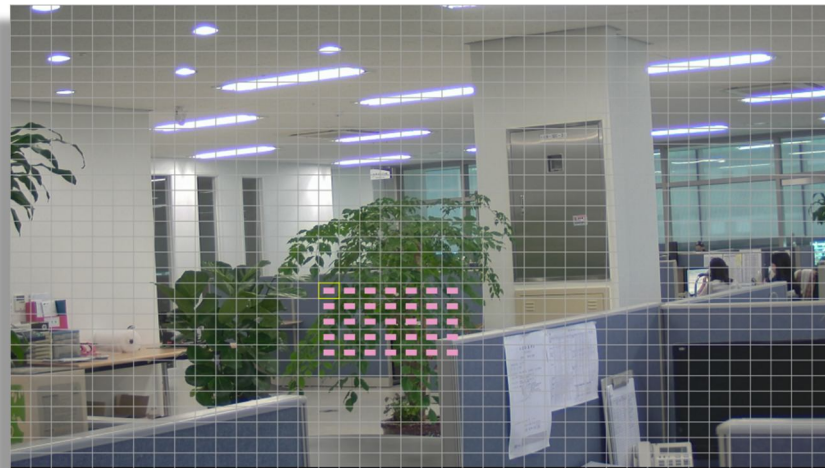
- [1] センサー入力：DVR本体に入力されたセンサー入力番号を選択します。(1～4)
- [2] オン/オフ：センサー機能の使用可否を選択します。(使用可能、使用不可)
- [3] 入力タイプ：センサーの接点タイプを選択します。
 - N/Open (NORMAL OPEN)：接点が通常は開かれた状態で、閉じられると信号が発生します。
 - N/Close (NORMAL CLOSE)：接点が通常は閉じられた状態で、開かれると信号が発生します。
- [4] 連動カメラ：各センサー(1～4)入力時、録画するチャンネルを選択します。

8-2. イベント – モーション

画面上に動き(モーション)があって録画する場合などに設定します。



- [1] チャンネル：設定するチャンネルを選択します。
- [2] オン/オフ：モーション機能の使用可否を選択します。(使用可能、使用不可)
- [3] 検知：モーションを検知する感度を選択します。(1～10)
 - * 設定した後、必ず感知の反応状態をご確認ください。
- [4] 検知エリア：モーションを検知するエリアを設定します。



方向キーで移動し、“確認”ボタンをクリックして選択します。

- モーション検知エリアの選択：ピンク色で表示します。
- モーション検知エリアの解除：表示しません。

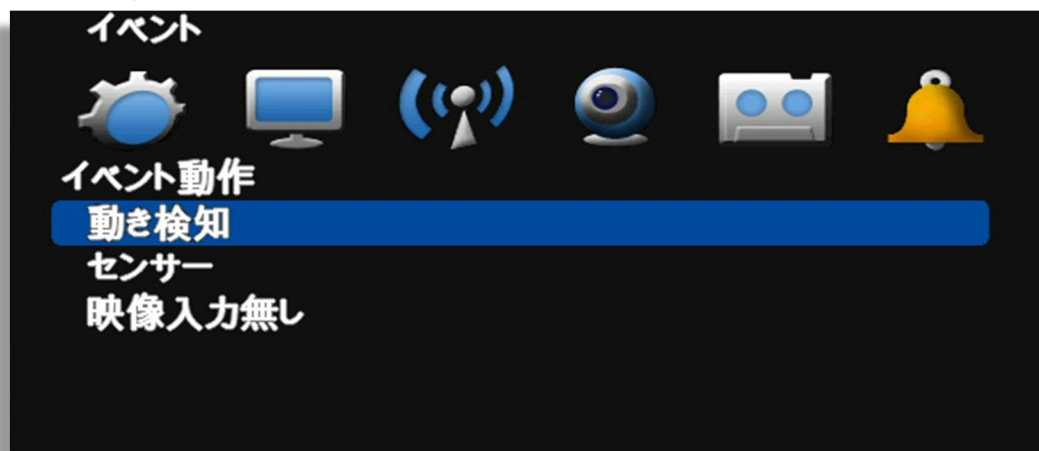
*モーション検知エリアを設定した後、設定したエリアに動きがあると、ピンク色が緑色に変わります。

*エリア一括適用

- [1] フロント使用：DVRフロントの数字ボタン“1”は全体選択、“2”は全体解除になります。
- [2] マウス使用：画面上でマウスで画面全体をドラッグします。
- [3] リモコン使用：リモコンの数字ボタン“1”は全体選択、“2”は全体解除になります。

8-3. イベント – イベント動作

イベント発生時の動作を設定することが可能です。



- [1] 動き検知：動きを検知した場合の動作を設定します。



- チャンネル：モーションを検知するチャンネルを選択します。
- プリセット：モーションを検知した場合のパン/チルトカメラのプリセット位置への移動可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- プリセットナンバー：記憶させたプリセット番号を選択します。(00～99)
* 6-3.パン/チルトカメラのコントロールを参照し、プリセット番号の登録が必要です。
- ポップアップ：モーションを検知した場合、該当チャンネルの全画面表示可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- ポップアップ持続時間：全画面で表示する時間を選択します。(1～30秒)
- リレー出力：モーションを検知した場合、DVR本体に接続したアラームの出力可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- リレー出力持続時間：アラームの出力時間を選択します。(1～30秒)
- 内部ブザー：モーションを検知した場合、DVR本体からブザー音を鳴らします。(使用中止、1～30秒)

[2] センサー：センサー入力が発生した場合の動作を設定します。



- チャンネル：モーションを検知するチャンネルを選択します。

- プリセット：モーションを検知した場合のパン/チルトカメラのプリセット位置への移動可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- プリセットナンバー：記憶させたプリセット番号を選択します。(00～99)
* 6-3.パン/チルトカメラのコントロールを参照し、プリセット番号の登録が必要です。
- ポップアップ：モーションを検知した場合、該当チャンネルの全画面表示可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- ポップアップ持続時間：全画面で表示する時間を選択します。(1～30秒)
- リレー出力：モーションを検知した場合、DVR本体に接続したアラームの出力可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- リレー出力持続時間：アラームの出力時間を選択します。(1～30秒)
- 内部ブザー：モーションを検知した場合、DVR本体からブザー音を鳴らします。(使用中止、1～30秒)

[3] 映像入力無し：各チャンネルのカメラ映像入力が切れた場合の動作を設定します。



- チャンネル：モーションを検知するチャンネルを選択します。
- プリセット：モーションを検知した場合のパン/チルトカメラのプリセット位置への移動可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- プリセットナンバー：記憶させたプリセット番号を選択します。(00～99)
* 6-3.パン/チルトカメラのコントロールを参照し、プリセット番号の登録が必要です。
- ポップアップ：モーションを検知した場合、該当チャンネルの全画面表示可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- ポップアップ持続時間：全画面で表示する時間を選択します。(1～30秒)
- リレー出力：モーションを検知した場合、DVR本体に接続したアラームの出力可否を選択します。
(使用可能、使用中止)
- リレー出力持続時間：アラームの出力時間を選択します。(1～30秒)
- 内部ブザー：モーションを検知した場合、DVR本体からブザー音を鳴らします。(使用中止、1～30秒)

第 9 章 – 検索

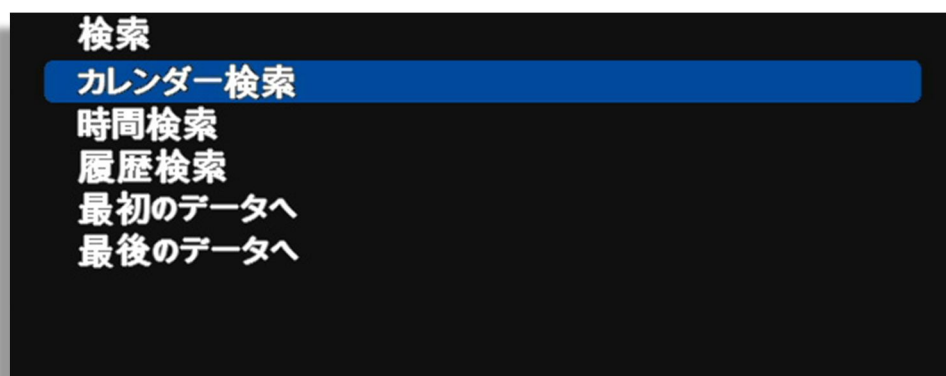
9-1. 検索

DVR本体のHDDに記録された録画映像を検索して再生することが可能です。

[1] 検索メニューの呼び出し

- ・ フロント使用：DVRフロントの“SEARCH”ボタンを押します。
- ・ マウス使用：画面上でマウスを右クリックして“検索”メニューをクリックします。
- ・ リモコン使用：リモコンの“SEARCH”ボタンを押します。

[2] 検索方法を選択



- ・ カレンダー検索：検索する日付と時間をカレンダーから選択して再生します。
- ・ 時間検索：検索する日付と時間を直接指定して再生します。
- ・ 履歴検索：イベント(モーション検知・センサー入力など)の発生履歴を検索して再生します。
- ・ 最初のデータへ：HDDに記録された映像データの中から、最初のデータから再生します。
- ・ 最後のデータへ：HDDに記録された映像データの中から、最後のデータから再生します。

9-2. カレンダー検索

検索する日付と時間をカレンダーから選択して再生します。

[1] カレンダー検索を選択して、カレンダー上から検索する日付を選択します。

- * 記録データがある場合、カレンダーの日付が赤色で表示されます。
- * 録画開始：HDDに記録された映像データの中から、最初のデータの日付が表示されます。
- * 録画終了：HDDに記録された映像データの中から、最後のデータの日付が表示されます。
- * HDD選択：検索するHDDを選択します。(メイン、ミラー)

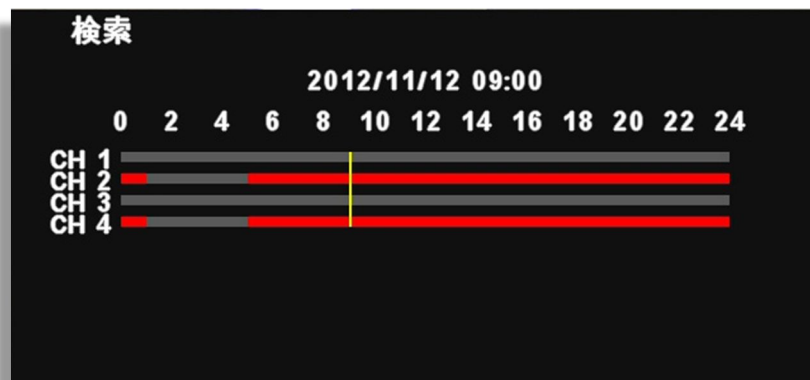
検索
カレンダー検索
録画開始: 2013-08-05 ~ 録画終了: 2014-08-04

ハードディスク メイン HDD

2014				08		
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

[2] 検索する日付を選択したら、次は時間を選択します。(1時間単位)

* 記録データがある場合、時間バーの時間が赤色で表示されます。



[3] 検索する時間を選択した後、分を選択します。(1分単位)

* 記録データがある場合、分バーは録画モードにより異なる色で表示されます。

[録画モード]

- N (灰) : 録画しません。
- C (緑) : 常時録画します。
- M (青) : 画面上に動き(モーション)が発生すると録画します。(システムイベントーモーション設定が必要)
- S (赤) : DVR本体にセンサーが入力されると録画します。(システムイベントーセンサー設定が必要)
- M+S (黄) : 動きまたはセンサー入力が発生すると録画します。

[4] 選択した日付・時間・分から記録データが再生されます。

9-3. 時間検索

検索する日付/時間を直接指定して再生します。

時間検索	
録画開始	2012/10/21 12:03:47
録画終了	2012/11/13 16:17:14
チャンネル	全チャンネル
再生開始	2012/10/21 12:03
再生	

- [1] 録画開始：HDDに記録された映像データの中から、最初のデータの日付が表示されます。
- [2] 録画終了：HDDに記録された映像データの中から、最後のデータの日付が表示されます。
- [3] チャンネル：検索するチャンネルを選択します。
- [4] 再生開始：検索する日付と時間を選択します。
- [5] 再生：選択した日付・時間・分から記録データが再生されます。

9-4. 履歴検索

イベント(モーション検知・センサー入力など)の発生履歴を検索して再生します。

履歴検索	
ハードディスク	◀ メイン HDD ▶
日付	2014/08/04
チャンネル	☒ 全チャンネル ☒ CH1 ☒ CH2 ☒ CH3 ☒ CH4 ☒ CH5 ☒ CH6 ☒ CH7 ☒ CH8
イベントタイプ	モーション
検索	

- [1] ハードディスク：検索するHDDを選択します。(メイン、ミラー)
- [2] 日付：検索する日付を選択します。
- [3] チャンネル：検索するチャンネルを選択します。
- [4] イベントタイプ：検索するイベントの種類を選択します。
(モーション、センサー、映像入力無し、システム、全部、HDDエラー)

[5] 検索：選択した日付の履歴が検索されます。

[6] 検索されたリストを選択すると、再生されます。

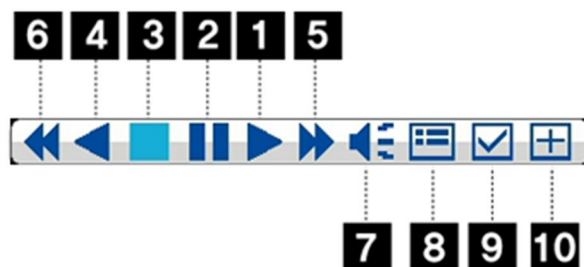
履歴検索			
2012/11/13	14:42:26	映像入力正常	'CH4'
2012/11/13	14:42:26	映像入力正常	'CH2'
2012/11/13	14:42:25	映像入力無し	'CH4'
2012/11/13	14:42:25	映像入力無し	'CH2'
2012/11/13	14:42:25	映像入力正常	'CH4'
2012/11/13	14:42:25	映像入力正常	'CH2'
2012/11/13	14:42:25	映像入力無し	'CH4'
2012/11/13	14:42:25	映像入力無し	'CH2'

9-5. 最初のデータへ/最後のデータへ

HDDに記録された映像データの中から、最初または最後のデータから再生します。

9-6. 再生のコントロール

再生時に必要な機能に関する説明です。(マウス：右クリックすると、再生コントロールが表示されます)



[1] 再生(フロント・リモコン：“▶”ボタン)

[2] 一時停止(フロント・リモコン：“▶||”ボタン)

[3] 再生停止(フロント・リモコン：“■”ボタン)

[4] 逆再生(フロント・リモコン：“◀”ボタン)

[5] 早送り(フロント・リモコン：“▶▶”ボタン)

[6] 巻戻し(フロント・リモコン：“◀◀”ボタン)

[7] 音声出力 (フロント・リモコン：“AUDIO”ボタン)

[8] カレンダー検索メニュー呼び出し(フロント・リモコン：“SEARCH”ボタン)

[9] Mark In・Mark Out：再生映像を見ながら、バックアップ開始時間(Mark In)と終了時間(Mark Out)を選択することができます。(フロント・リモコン：“BACK UP”ボタン)

[10] ズーム：全画面の状態画面を拡大します。(フロント・リモコン：“EMERGENCY”ボタン)

* ライブ画面に戻る場合には再生停止をします。

9-7. 音声出力

ライブまたは再生時に、記録された音声を出力することが可能です。



[1] 音声メニューの呼び出し： “AUDIO”ボタンを押します。(マウス：右クリックして音声アイコンを選択)

[2] モード選択

- 使用中止： 音声を出しません。
- CH1： CH1のみ音声を出します。
- CH2： CH2のみ音声を出します。
- CH3： CH3のみ音声を出します。
- CH4： CH4のみ音声を出します。
- 自動： 連動のカメラを選択時、自動的に音声を出します。
- 音量調節： 音量を調節します。



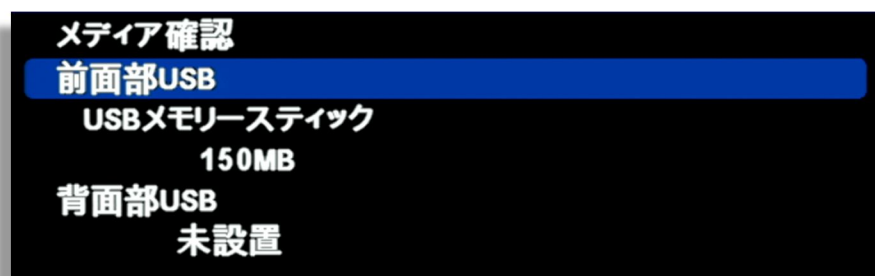
第 10 章 – バックアップ

10-1. バックアップ

HDDに記録されている映像データをメディア(USBメモリースティック・DVDなど)にバックアップすることが可能です。

- [1] USBメモリースティックをDVR本体の前面または背面のポートに接続すると、“XXXXMB”とUSBメモリースティックの空き容量が表示されます。

(本体にODDが内蔵されている場合にはCD/DVDを入れると、CD・DVDの空き容量が表示されます。)



- [2] メディアを選択すると、カレンダーが表示されます。

録画開始日と終了日を確認して、ディスクタイプ(メインHDD・ミラーHDD)を選択します。

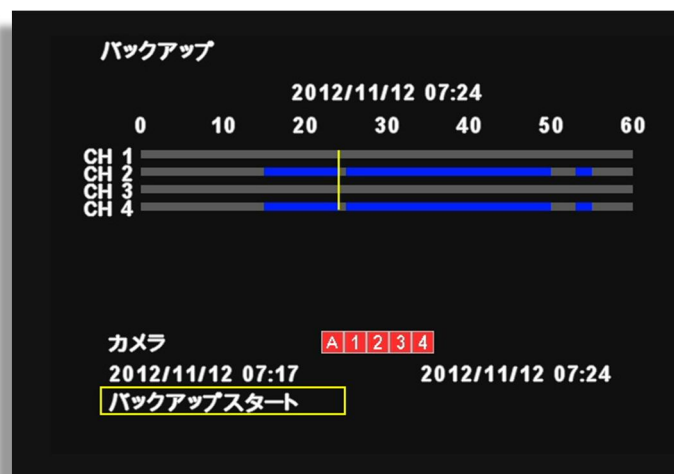
カレンダーからバックアップの開始日付を選択します。



- [3] 開始時間：時間バーからバックアップの開始時間を選択します。



[4] 分バーからバックアップの開始分を選択して、“開始時間”を選択すると、選択した時間が表示されます。



[5] 同じ方法でバックアップの終了時間を選択して、“終了時間”を選択すると、選択した時間が表示されます。

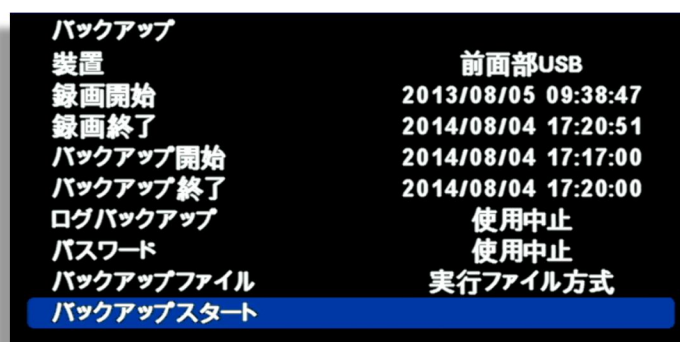
[6] カメラ：バックアップするチャンネルを選択します。（Aは音声）

* 開始時間とは異なる日付を終了時間に設定する場合、“MENU”ボタン(マウス右クリック)でカレンダーまで戻って、から再度日付・時間・分を選択します。

- [7] “確認”を選択すると、選択したデータの容量(XXXXMB)/メディアの空き容量(XXXXMB)が表示されます。 ”
メディア容量に対して選択データ容量が範囲内であることを確認した上で、了解”を選択します。

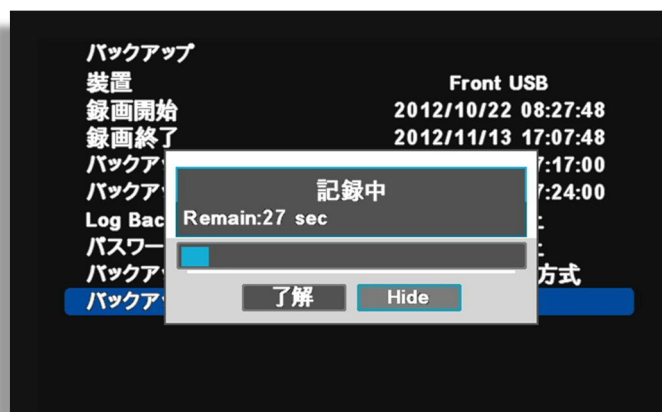


- [8] 最終確認画面が表示されます。



- ログバックアップ：選択した時間のシステムログ(履歴)をバックアップします。
- パスワード：バックアップした映像データをパソコンから再生する場合のパスワードを設定します。
- バックアップファイル：バックアップファイルの方式を選択します。
 - 実行ファイル方式：映像データとビューアープログラムを一緒にバックアップします。
 - 保存ファイル方式：映像データのみバックアップします。

- [9] “バックアップスタート”を選択すると、バックアップが開始します。



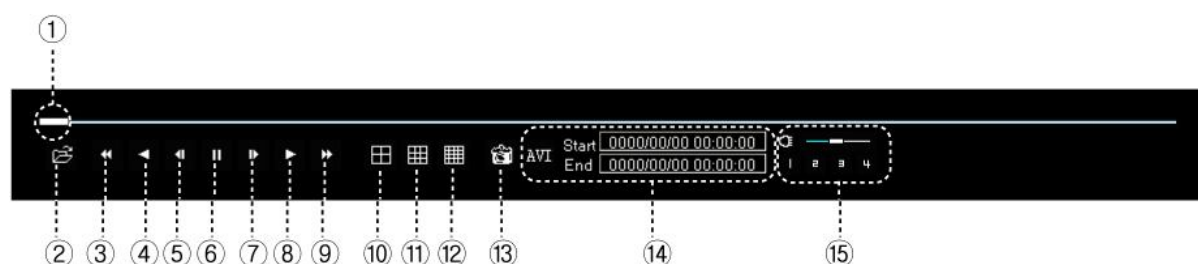
[10] バックアップが完了すると、メディア(USBメモリースティック・DVDなど)にバックアップデータが保存されます。
(ビューアープログラムと映像データがひとつのファイルになります。)



* バックアップファイルで保存ファイル方式を選択すると、映像データのみバックアップされて、ビューアープログラムは別にインストールしなければなりません。

10-2. ビューアープログラムのコントロール

バックアップしたデータはパソコンからビューアープログラムを利用し、再生速度などコントロールすることが可能です。



- ① スクロールバー : バーを移動して、再生位置を変更することができます。
- ② フォルダー : 他のバックアップファイルを開くことができます。
- ③ 巻戻し
- ④ 逆再生
- ⑤ 逆コマ送り
- ⑥ 一時停止
- ⑦ コマ送り
- ⑧ 再生
- ⑨ 早送り
- ⑩ 4分割画面
- ⑪ 9分割画面
- ⑫ 16分割画面
- ⑬ キャプチャー : ドキュメント-CMS-MPGフォルダにイメージファイル(BMP)を保存します。
- ⑭ AVI変換 : 再生中にAVIファイルに変換する区間をそれぞれ“START”と“END”の空欄をクリックすると、時間が自動に入力されます。
“AVI”ボタンをクリックして、変換するチャンネルなどを選択して、変換を開始します。
- ⑮ 音声出力 : 映像データとともに記録されている音声を出力することができます。

第 11 章 — 遠隔接続-iPhone

11-1. アプリインストール

アプリストアから“MPRMS”を検索し、ダウンロードします。

11-2. アプリ起動

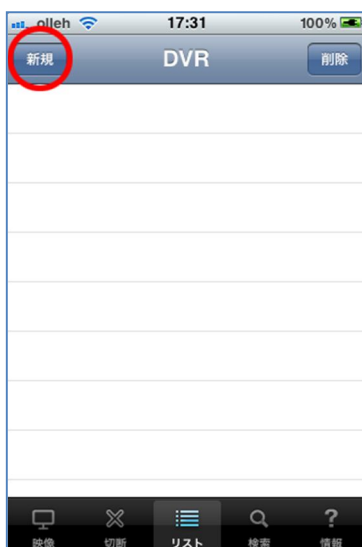
“MPRMS”アイコンをタッチし、アプリを起動します。



11-3. DVRの登録

DVR本体の情報を登録します。

[1] “リスト”の“新規”ボタンをタッチします。



[2] DVR名称(任意)を設定します。



[3] モデル名を設定します。



◎ MODEL : DVR製品である場合には“DVR”を選択します。

[4] ログイン情報を設定します。



新規登録

DVR

名称 : demo

モデル : DVR

DVR ID : admin1

パスワード :

DVR IP :

DVRポート : 2000

DDNS

映像 切断 リスト 検索 情報

- ◎ DVR ID : DVR本体に設定したIDを入力します。
- ◎ パスワード : DVR本体に設定したパスワードを入力します。
- * DVR本体のメニュー> システム> パスワードから確認できます。

[5] ネットワーク情報を設定します。



新規登録

パスワード : ●●●●●●●●

DVR IP : 121.130.153.220

DVRポート : 2000

DDNS

DDNS使用 : ☐ オフ

DDNS IP : 61.250.157.14

DDNSポート : 2400

DDNS ID :

映像 切断 リスト 検索 情報

- ◎ DVR IP : 固定IPの使用者のみ入力します。ダイナミックIPの使用者は入力しません。
- ◎ DVRポート : DVR本体に設定したポートを入力します。

[6] DDNS情報を設定します。(ダイナミックIPの使用者のみ入力)

◎ 固定IPの使用者はDDNS使用を“オフ”に設定します。

DDNS USE:



◎ ダイナミックIPの使用者はDDNS使用を“オン”に設定します。

DDNS USE:



◎ DDNS ID : DVR本体の“ウェブコード”を入力します。

* DVR本体のメニュー> システム> 情報> ウェブコードから確認できます。

* 参考 : DDNS IPとDDNSポートは変更しないでください。

[7] 設定が完了したら、“追加”ボタンをタッチして登録情報を保存します。

11-4. ライブ

[1] 登録された“DVR名”をタッチすると、接続します。

[2] ライブ画面構成



- ◎ CH選択：チャンネルを選択します。
- ◎ リレー制御：DVR本体のアラームを出力します。
- ◎ PTZ：パン/チルトカメラをコントロールします。
- ◎ OSDオフ：時間・DVR名・チャンネル名・解像度・コマ数などの表示をオン・オフします。
- ◎ サイレント：操作音有・バイブなどの操作音を選択します。
- ◎ 分割画面変更：チャンネル順で4個のチャンネルずつ表示します。
- ◎ 分割/全画面変更：4分割画面と全画面を切り替えます。
- ◎ I FRAME：DVRからI FRAMEのみ転送し、転送速度を上げます。
- ◎ スピーカー：チャンネルを選択し音声を出力します。

☞ iPhoneを横にすると、画面が大きく表示されます。

* 横になった状態で、キーボードアイコンをタッチをすると、メニューが表示されます。

11-5. 検索

[1] “検索”アイコンをタッチします。



[2] 日付/時間を選択して、“検索”ボタンをタッチします。



[3] 検索画面構成



- ◎ 巻き戻し・逆再生・一時停止・再生・早送り
- ◎ LIVE : ライブに戻ります。

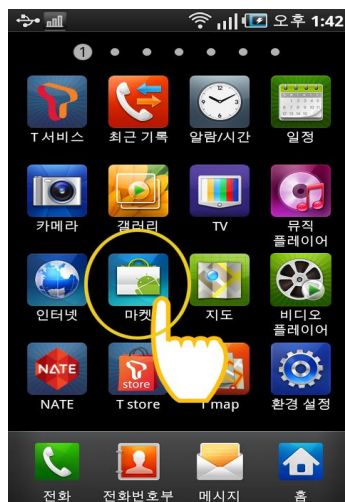
11-6. 接続終了

“切断”アイコンをタッチします。

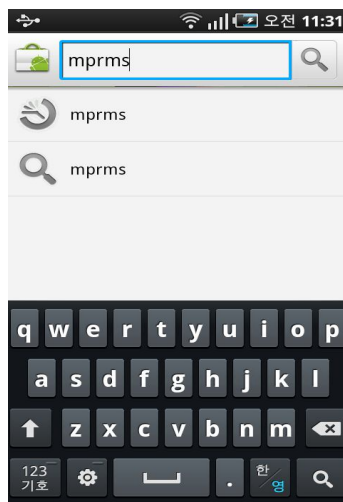
第 12 章 — 遠隔接続-アンドロイドフォン

12-1. アプリインストール

マーケットから“MPRMS”を検索し、ダウンロードします。



(手順1)



(手順2)



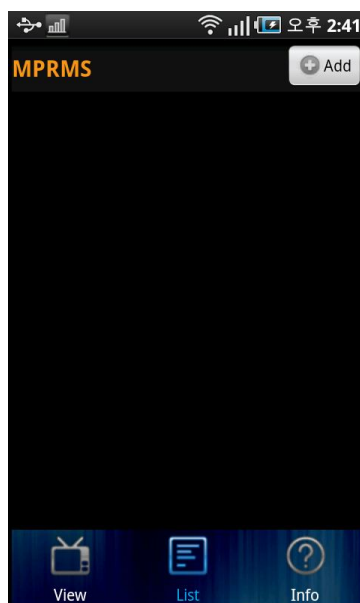
(手順3)

12-2. アプリ起動

“MPRMS”アイコンをタッチし、アプリを起動します。



(アイコン選択)



(アプリ起動画面)

12-3. DVRの登録

* iPhone設定方法をご参照ください。

12-4. ライブ

* iPhone操作方法をご参照ください。

12-5. 検索

* iPhone操作方法をご参照ください。

12-6. 終了

“BACK”アイコンをタッチします。

第 13 章 - 付録

SPEC (仕様)

モデル		4 / 8CH HD-SDI DVR
OS		Embedded Linux
圧縮方式		H.264
オーディオ圧縮方式		G723.1
ビデオ	映像方式	NTSC/PAL
	映像出力	1 x HDMI / 1 x VGA / 1 x SPOT(BNC)
	解像度	Max. 1920 x 1080
ライブ		リアルタイム
録画	スピード	NTSC: 30fps@1080p per Channel
	解像度	1080P : 1920×1080, 1920×540, 960×540 720P : 1280×720, 1280×360, 640×360
	イベント	連続録画, スケジュール録画, アラーム録画, 緊急録画, モーション録画
検索	モード	カレンダー検索、日付時間検索、イベント検索、最初データ検索、 最後データ検索、バックアップ検索
	再生速度	x1, x2, x4, x8, x16
オーディオ	入力/出力	4/1
アラーム	入力/出力	4/1
ポート	RS-232	キーボードコントロール & パンチルトコントロール
	RS-485	
	LAN	10/100/1000 Base-Tx Ethernet (RJ-45) - Fixed IP, DHCP & DDNS
ネットワークコントロール		Video Dual-Stream (Local recording & Network Transmission)
リモート接続		ウェブブラウザ (IE browser), iPhone, Blackberry, Android, Symbian, Windows Mobile
バックアップ装置		USBメモリースティック, CMS(遠隔), DVDRW
HDD		3 x SATA HDD or 2 x SATA HDD & 1 x SATA ODD
その他	多重言語支援	
	パンチルトコントロール時にマウスが動く方向にコントロール可能	
	バックアップ時にビューアープログラムの自動保存及びAVI変換可能	
電源		アダプター12V 6.67A
使用温度		0℃ ~ 40℃
最大消費電力		16.5W
寸法		358 mm(W) X 67mm(H) X 390mm(D)
重量※1		3.5Kg

※1 重量はHDDを除く、本体重量になります。

本仕様は改良等の理由により予告なく変更することがあります。

保証書

[保証案内]

- 本書は、取扱説明書などの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保障期間中に故障した場合に、本書内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
- 本書の内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保障期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご持参の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

[保証内容]

- 保障期間はお買い上げ日から1年間です。
- 保証期間中に発生した故障に対しては保証書の内容に従って、修理または補修サービスを行います。
- 保証期間内でも、次の場合は有料修理になります。
 1. 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
 2. お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
 3. 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
 4. 本書のご提示がない場合。
 5. 消耗部品の交換。
- 出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- HDDの映像データ・バックアップデータはいかなる場合も保証は致しません。
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理のご希望により有料で修理させていただきます。

製品保証書

製品及びモデル名		
シリアルナンバー(本体カバーに記載)		
販売店	店名	
	住所	
	TEL	
お買い上げ日		
保証期間		本体1年間
お客様	お名前	
	ご住所	
	TEL	

- ▷ 保証書は再発行しません。
- ▷ 製品購入時、必ず内容をご記入してください。
- ▷ 修理に際しましては、必ず保証書をご提示ください。